

「2013 文化で滋賀を元気に！賞」受賞者について

文化・経済フォーラム滋賀では、文化で滋賀を明るく元気にし、活力あふれる地域社会の実現に貢献している団体または個人に対して、感謝と今後の活動を期待して、2011 年から「文化で滋賀を元気に！賞」を設け、表彰しています。

3回目となる「2013 文化で滋賀を元気に！賞」には、県下各地の、地域を元気にする活動をされている団体・個人から、33 件の推薦応募をいただきました。

選考委員会による慎重審査の結果、大賞をはじめ6件(1個人、5団体)が受賞されました。

(講評執筆：「2013 文化で滋賀を元気に！賞」選考委員会)

【表彰概要】

■表彰の種類

(1) 文化で滋賀を元気に！各賞

文化で滋賀を明るく元気にし、活力あふれる地域社会の実現に貢献している団体または個人(若干名)

(2) 文化で滋賀を元気に！大賞

(1)の受賞候補者のうち最も評価された団体または個人(1名)

(3) 各賞の名称は、推薦者からの提案に基づき決定

■表彰式

平成 26 年 2 月 11 日(火・祝)15:40～ 大津プリンスホテル コンベンションホール「淡海」

※受賞者には表彰状と彫刻家(成安造形大学名誉教授)富樫実氏の制作によるトロフィーを贈呈します。

■募集期間

平成 25 年 7 月 29 日(月)～平成 25 年 10 月 31 日(木)

■候補者の推薦

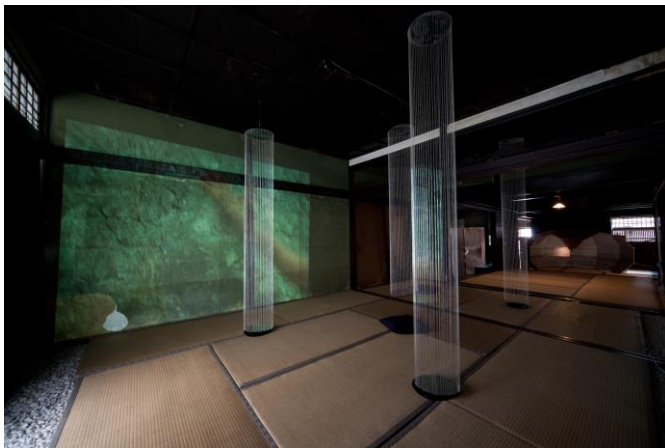
募集期間内に推薦書を文化・経済フォーラム滋賀事務局に提出。自薦、他薦は問わない。

■選考

12 月 12 日(木) 6名の委員からなる選考委員会で審査を行い、大賞・各賞を決定。

選考委員	木村 至宏 (成安造形大学附属近江学研究所長)	石丸 正運 (美術史家)
	岸野 洋 (公益財団法人滋賀県文化振興事業団理事長)	中村 順一 (行政経験者)
	南 千勢子 (ピアニスト)	饗場 貴子 (大津市教育委員)

大賞(びわこアート文化賞)



「BIWAKO ビエンナーレ 2012」作品:ガブリエラ・モラヴェッツ、パフォーマンス:タリナイニカ(近江八幡市 旧中村邸)

NPO法人エナジーフィールド / 近江八幡市

近江八幡市にある国の重要伝統的建造物保存地域を中心に、現代アートによるまちづくりをテーマにした国際芸術祭「BIWAKO ビエンナーレ」を定期的に開催しているNPO法人。

2001年にびわ湖ホールで開催したのを始めに、以降、近江八幡市町家にて定期的に開催し、昨年で5回の開催を数える。特に昨年度は、会場に近江商人屋敷が並ぶ東近江市五個荘地域も加え、国内外から多くの作家の参加を呼び込み、関連イベントも多彩に行い、地域を大いに盛り上げることに成功した。伝統的な町家と現代美術を組み合わせるというテーマ性、地域の理解と協力を得るための努力、また、多くの方々が町の素晴らしさを再発見し、地域の活性化に貢献した点が大いに評価できる。

問合せ NPO法人エナジーフィールド

プロフィール

2001年「BIWAKO ビエンナーレ 2001」開催
 2004年「BIWAKO ビエンナーレ 2004」開催
 2005年 NPO法人設立
 2007年「BIWAKO ビエンナーレ 2007」開催
 2008年 文化庁「NPOによる文化財建造物活用モデル事業」
 2009年 パリー近江八幡 アート交流プロジェクト
 2010年「BIWAKO ビエンナーレ 2010」開催
 2012年「BIWAKO ビエンナーレ 2012」開催
 2013年「美の滋賀」地域づくりモデル事業
 その他、定期的なワークショップやコンサートを開催、地域の小学校とも連携を行っている。
 現在、「BIWAKO ビエンナーレ 2014」に向け、着々と準備中。※活動拠点:コミュニティスペース天籟宮(てんらいきゅう)近江八幡市玉屋町 6

< 理事長: 大野木啓人 >



ヒトやコトをつなぐ文化賞

新江州(株)循環型社会システム研究所M・O・H通信 / 長浜市

「もったいない」のM、「おかげさま」のO、「ほどほどに」のHという循環型社会を目指す思いを伝えるべく、本のタイトルとした「M・O・H通信」を発行している。2003年4月の創刊以来、年4回発行を続け、現在42号を既刊。各号の特集記事には滋賀県に伝わる文化を詳細に掘り下げ、それらが伝わるように編纂されている。活動範囲は冊子の発行だけでなく、講演会、シンポジウムの開催など多岐にわたり、滋賀の文化を伝え、人を育て、地域の再発見に貢献していることが大いに評価される。

＜代表取締役社長：草野勉＞

問合せ M・O・H通信事務局



まちおこしJAZZ文化賞

びわこJAZZフェスティバル in 東近江実行委員会 / 東近江市

今年で5回目の開催となるびわこJAZZフェスティバルは、東近江市内の市役所や駅前広場など35箇所を会場として、出演バンド160組以上、2日間の公演で延べ3万人が来場するイベントに成長している。ステージの運営、資金集め、チラシ配布など市民ボランティアの参加によって作られるという、まさに市民参加型の大イベントである。このフェスティバルの開催により、地域住民の協力、各種団体の連携が図られるとともに、八日市商店街に賑わいをもたらした活動が大いに評価される。

＜実行委員長：蔭山啓介＞

問合せ びわこJAZZ フェスティバル実行委員会



ふるさと輝き文化賞

NPO法人甲賀文化輝き / 甲賀市

甲賀に関わりの深い題材をテーマとした市民ミュージカル(2012年に第5作)の制作と公演を住民参加により成功させるとともに、地域文化をまちづくりに活かす講座やシンポジウムを開催、さらには同じく、まちづくりを行っている地域との交流を深めるなど、甲賀の地域文化を掘り起こし、守り、伝え、育むことにより、失われつつある甲賀文化に輝きをもたらし、人と人がつながる活力ある地域社会を創り出している活動が大いに評価される。

＜理事長：松島津由子＞

問合せ NPO法人甲賀文化輝き事務局



石橋調査文化賞

森野 秀三 氏/ 甲賀市

森野秀三氏は、20年以上にわたって全国各地の石橋800箇所を現地調査している石橋研究者である。湖南省の大沙川隧道が日本最古の隧道であることを検証した。文化的価値の高い社寺等の石橋の写真を納め、琵琶湖博物館など滋賀県を中心に展覧会を開催し、さらには湖南省などと連携することにより、石橋に遺産価値と観光価値を見出し、そして発信することにより、忘れられていた地元の文化遺産の大切さを呼びかける不断の活動が大いに評価される。

問合せ 森野 秀三



伊吹へ、きやんせ文化賞

伊吹の天窓実行委員会 / 米原市

過疎・高齢化が進む米原市・伊吹北部地域にて、地域住民とともに「地域の魅力」を伝えるまちおこしイベント「伊吹の天窓」を主催する。3回目の開催となった「伊吹の天窓2013」では、地元食材を用いた「星空食堂」、同市出身アーティストによるライブ等、地域の素材を活用した自然と一体となるイベントを成功させた。運営には多くのボランティアが参加し、世代、職業等を越えた交流が深まり、山村地域社会の活性化に寄与する活動が大いに評価される。

＜実行委員長：早川鉄兵＞

問合せ 伊吹の天窓実行委員会